

事務連絡
令和6年7月23日

各都道府県衛生主管部（局） 御中

厚生労働省医政局地域医療計画課
厚生労働省医政局医薬産業振興・医療情報企画課

「アナペイン注 2mg/mL, 7.5mg/mL, 10mg/mL (10 管)」
(サンド株式会社) の適正な使用と発注について (協力依頼)

平素より厚生労働行政の推進にご理解ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。
令和6年6月より、製造設備の不具合により「アナペイン注 2mg/mL, 7.5mg/mL, 10mg/mL (10 管)」(以下「アナペイン注」という。)の供給が不安定となっており、医療機関等において必ずしも十分な量の製剤が入手できない状況が生じています。

厚生労働省では、アナペイン注の製造販売業者であるサンド株式会社に対して、本剤の安定供給に向けての対応を依頼しているところです。また、マーカイン等の代替製剤についても供給が不安定となっております。

このような状況の中、限られた医療資源を治療が必要な患者に優先的に用いる観点から、令和6年6月21日付けで公益社団法人日本麻酔科学会より、「長時間作用性局所麻酔薬が安定供給されるまでの対応について」(別添1)が発出され、各医療機関において、長時間作用性局所麻酔薬使用の優先順位策定、局所麻酔薬使用量削減の方策や他の鎮痛方法の検討及び必要量のみ購入の検討が依頼されており、また、優先すべき医療行為の例として、帝王切開術や無痛分娩が挙げられているところです。加えて、令和6年7月1日付けで「一般社団法人日本産科麻酔学会理事長メッセージ」(別添2)が発出され、これらの内容等が周知されているところです。

つきましては、帝王切開や無痛分娩をはじめとした代替製剤の使用が困難な医療行為におけるアナペイン注の使用量を確保できるよう、上記についてご了知いただくとともに、貴管内の医療機関に周知いただくようお願い申し上げます。

(参考) アナペイン注 2mg/mL, 7.5mg/mL, 10mg/mL (10 管) 供給に関するお詫びとご案内 (出荷量減少割当による限定出荷) 続報-1 (サンド株式会社)
https://prod.sandoz.jp/sites/www.sandoz.jp/files/news_20240701_003.pdf